

認知症作業療法 活動計画（概要）

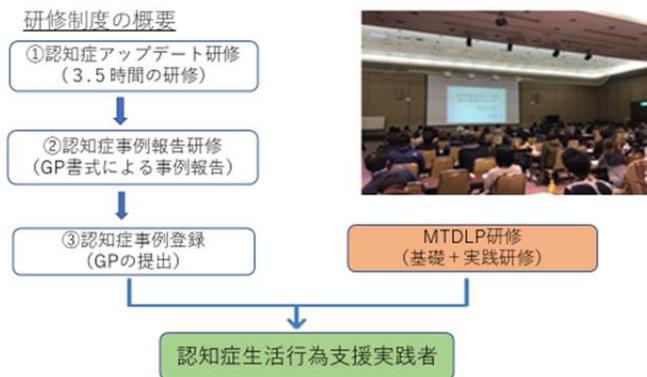
（一社）岡山県作業療法士会は、平成27年度より認知症初期集中支援推進委員会を立ち上げ、平成30年度以降は認知症支援委員会として現在15名で活動している。事業目的は、「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」のなかで、日本作業療法士協会と共同し、認知症に対応できる作業療法士の人材育成等を行う、であり、1. 認知症作業療法推進委員としての活動、2. 認知症アップデート研修を中心とした人材育成、3. 行政などへの広報活動、4. 認知症に関する社会資源等の情報収集および現状把握、5. その他、の活動を進めている。

COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応

COVID-19感染拡大防止の観点から、2020年2月以降に予定していた認知症アップデート研修と他職種共同のケアカフェを中止した。当士会では、COVID-19対策指針に基づき、次年度の人材育成事業（認知症アップデート研修やGP報告会）は、web会議システム（ZOOM）等による開催を検討している。

人材育成事業

「認知症生活行為支援実践者研修」について



アップデート研修は、2020年度に2回（6月、10月）開催した。（参加者数54名）

「認知症の人を対象にした作業療法実践事例報告会（GP報告会）」を2月に開催した。発表者10名聴講者6名の参加があり、GP事例登録を5名が行った。GPでは病院からの在宅復帰だけでなく、在宅生活を継続するための役割の拡大や再獲得などに焦点を当てた内容の報告があった。これにより当士会が認定する「認知症生活行為支援実践者」の修了者は9名となった、今年度、実践者の内2名が地域支援事業へ参加した。

広報・調査事業

11月に当県士会主催でOTフェスティバルを実施。その中で、「認知症になることを遅らせるために」をテーマに支援委員が講演し、作業療法の啓蒙を行った。調査事業では、県士会員の認知症支援の実態調査のため、アンケート作成を行った。今後、「アンケート調査・分析」を行い、人材の発掘や支援委員のさらなる活動へと展開していく予定。

今後の展開

- ・ コロナの影響を鑑みながら、認知症の人と家族の会との連携を深め、連携事業を行っていく
- ・ 実践者の行政からの研修会の講師依頼やケア会議・介護予防等の地域支援事業への派遣実績を積み上げていく

2019年度（一社）岡山県作業療法士会 推進活動

作業療法フェスティバル

Occupational Therapy Festival 2019

📍 岡山市 南ふれあいセンター
3F ふれあいホール（併設）岡山県立病院（近隣）

📅 開催日時 11月3日 AM10:00～PM4:30（開場 AM9:30）
参加費 無料 事前申し込み不要

🎯 作業療法フェスティバルとは？

作業療法に関係した内容の午前と午後の公開講座を中心に、公開講座分野の相談ブースや作業療法アビリティコーナー、障害体験・患者様の作品展示、自動具製作体験・作業所パン販売などを行います！

📚 公開講座開催

- 公開講座テーマ① 認知症になることを遅らせるために
- 公開講座テーマ② 高齢者と自動車運転～安全運転を促すために～

📀 作業療法DVDリリース、各種展示・体験・販売ブース

📄 自動具製作・作業療法アビリティのDVD上映とポスター展示

👤 作業療法で作製した作品の展示

👤 高齢者体験セット

📍 県内養成校のパンフレット印刷